

ユニバーサルデザイン～すべての人に旅のよろこびを～

# 旅のよろこび株式会社

# ごあいさつ



**ユニバーサルデザインを企業理念とし、  
年齢や性別、しょうがいの有無に関係なく、  
誰もが楽しめる旅行をご提案しております。**

**旅は、人生の楽しみのひとつで、生きる喜びにつながります。**

**旅は、リハビリの目標や、実践の場にもなります。**

**非日常を味わえる旅は、五感を刺激し、元気の源となります。**

**さあ、旅に出かけましょう！**



# ハワイ

ビーチ車椅子で、砂の上もスイスイ♪ 海の中にも入れます





# 札幌雪まつり

雪像前で集合写真



札幌雪まつり

足元ですっぽり・・・





グアム

海の中で、椅子も準備していただきました







スポーツ観戦





# 旅のよろこびUDツアーの特色

- 旅行前に、身体状態確認
- 旅行介助スタッフ同行
- 多職種連携
- 旅行先下見
- リフト付きバス利用
- ゆとりある行程・トイレ休憩頻繁に
- 食事フリー
- 刻み・ペースト食対応
- 車いす持参
- シャワーキャリー・シャワー椅子持参

# 旅行前に身体状況把握

- 車いすを使用しているのか
- どの程度お歩きになるのか
- 食事は刻み食・ミキサー食なのか
- 聞こえ・見え方について

などを、アンケート用紙を用いて事前に情報収集。お客様がどのような身体状況なのかを把握しています。



# 旅行介助スタッフ同行

- 旅行に同行し、車いすを押したり、食事介助をするボランティアスタッフを養成しています。連携先の病院、専門職に講師を派遣していただいています。
- 日当はないが、交通費・宿泊費・入場料はお客様負担。食費は基本、個人負担。
- 旅行傷害保険の範囲内での補償とお客様に承諾をいただいています。
- 旅先では、多職種連携先から、介助ボランティアをしていただける専門職を紹介してもらっています。
- 旅行介助スタッフがお客様を紹介して下さる事もあります。

# 多職種連携

- 多職種連携の会を開催し、関係を作っています。
- 多職種連携の会とは、医療・福祉系の課題（障がい・ひとり親・依存症・LGBTなど）をテーマに学ぶ会を開催しています。
- 多職種連携の会に参加し、関係を作る。
- 旅行のお客様対応で迷った時に相談・助言をいただいています。
- 多職種連携先がお客様を紹介して下さる事もあります。



# 旅行先下見

- 実際に下見に出かけたり、画像をメールしてもらい下見に代えることをしています。
- 多目的トイレの有無。
- バリアフリー客室の有無。
- バリアフリー客室のトイレ・お風呂の様子。
- 観光地の駐車場から目的地までの距離。
- 階段・エレベーターの場所など。

# リフト付きバス使用

- リフト付きバスも全国各地で、少しずつ増えてきました。熊本県内には、1台ありますので、そのバスを利用しています。



# ゆとりある行程

- トイレ休憩も1時間～1時間半に一回。
- 多目的トイレを使用される方も多いため、20分～30分のトイレ休憩。
- 旅行で一番の不安は、『トイレ』
- 多くのモノを見る旅から、少なくとも濃く見る旅へ。広範囲に移動して多くのモノを見なくても、旅の満足度は下がらない。

# 食事フリー

- 従来のツアーは、団体皆で同じ食事をいただくことが多かった。ご高齢の方は、量も少な目。一食抜かれる方もいらっしゃいます。夕食はフリーにし、ホテルのレストランで好きな物を自由にお召し上がりいただいています。

# 刻み食・ペースト食

- 対応していただけるレストラン、ホテルを探します。
- 情報は皆無。ホームページにも載っていません。電話で一軒一軒問い合わせしています。ここにも旅行会社としての付加価値が生まれると考えます。

# 車いす持参

- 普段車いすを使用していない方も、旅先でお疲れになって、お歩きになれない方もいらっしゃいます。
- 車いすに乗っていただき、観光していただくこともあります。
- ただ、人に迷惑をかけるから乗りたくないという方もいらっしゃいます。無理強いは禁物です。



# シャワーキャリー・シャワー椅子 持参

- シャワーキャリーがある宿泊施設は少ないので、会社保有のものを持参しています。  
(シャワーキャリーとは、タイヤがついた入浴用車いす。歩行が難しい方の入浴で使用します。)
- シャワー椅子も、背もたれがないシャワー椅子しか持っていない宿泊施設があるので、確認が重要。

# 旅行業務取扱手数料

- 2019年までは、従業員5人の会社で年間約2,000人の送客・誘客をしてきました。
- 利益として20%ほどいただいています。
- 手間がかかる分の対価としていただいています。
- お客様は、値引きや安さを求めてはいらっしゃいません。丁寧な対応や安心を重視されます。だからこそビジネスとして成り立つのです。
- 感謝されます。やりがいにつながります。

# ユニバーサルツーリズムが 普及するためのご提言

- ユニバーサルツーリズムは、適切な価格をいただ  
いて経営すればしっかりとビジネスとして成り立つ  
ものですが、業界にはまだまだ対応可能な事業  
者が不足しています。
- 旅行社が実践するための、ガイドラインの整備。
- ガイドラインを順守している事業者を国が認定し  
て顧客からわかりやすくする仕組み。
- 介護施設・医療機関との連携（マッチング）支援  
を希望致します。

# TABI NO YOROKOBI ♥ HAPPY SMILE

## 皆様の「笑顔」が勸達スタッフのよろこびです!!

【さまざまな病気や障がいを知る旅のよろこび・青空 学習ルーム】

熊本市しょうがい者生活支援センター青空との共催(毎月開催!)

毎月、専門家を講師にお招きし、わかりやすくお話いただきます。  
どなたでもご参加いただけます。  
学習ルームスケジュールは、旅のよろこびHPに掲載しております。



過去の学習ルーム

認知症について  
パーキンソン病について  
発達障がいについて  
口腔ケアについて

旅行介助ボランティアスタッフ  
随時募集!!

### ♥旅行介助ボランティアスタッフ講習♥

旅行に参加される皆様に、より安全・安心な旅をしていただくために、  
旅行介助ボランティアスタッフ講習を実施しております。



救命救急・AED



正しい動作



視覚障がいがある方  
への食事介助



視覚障がいがある方  
への荷物介助

旅の  
よろこび

旅のよろこびにお任せください!!

- 国内・海外バック旅行
- ハネムーン、家族旅行、グループ旅行
- 職場旅行、修学旅行
- 航空券、宿泊、貸切バスの手配など…

お気軽にご相談下さい!!

毎月、国内・海外への、高齢の方・障がいがある方も参加しやすい集客ツアーを企画しております。パンフレットご希望の方は「旅のよろこび」までご連絡ください。

高齢の方・障がいのある方の旅の様子、参加者の感想、日本・世界のバリアフリー・UD情報をご紹介します。

旅のよろこび株式会社



ユニバーサルデザインーすべての人に旅のよろこびをー  
旅のよろこび株式会社

TEL096-345-0811

FAX 096-345-0812 E-mail: info@tabinoyorokobi.com

URL: http://tabinoyorokobi.com

〒861-5514 熊本市北区飛田3-1-2B

熊本県知事登録旅行業 第2-219号 (一社) 全国旅行業協会正会員

総合旅行業取扱管理者 高川和夫

営業時間/月曜日～金曜日 9:00～18:00 (土・日・祝日は休み)

Facebook  
もご覧ください。





病室には、自由にベッドがある多目的室があります。



車椅子にストレッダーを設置することが可能です。

旅のよろこび株式会社

# 「さあ、出かけよう！」

## ～身体にしょうがいがある方・自閉症の方・高齢の方の旅を考えるシンポジウム～

しょうがいがあっても、高齢になっても、旅は楽しめます。  
旅の妨げになっているものは何か、  
どうすれば旅を楽しめるのかを、  
すでに旅を楽しんでいらっしゃる方に、お話をもらいます。  
このシンポジウムが、旅への扉を開けるきっかけ、となりますように。



### 2月12日(月・祝)

開場9時30分 開始10時00分 終了16時00分

場所／熊本機能病院〈地域交流館 市民熱ホール〉

お問い合わせ・お申し込み／旅のよろこび株式会社 TEL096-345-0811

参加費  
**無料**

※お申し込みは必ず  
www.yorokobi.jp

#### スケジュール

- |        |  |        |                                       |
|--------|--|--------|---------------------------------------|
| 10時00分 | 主催者挨拶 旅のよろこび株式会社 宮川 和央   | 13時30分 | 旅の達人/85歳の平塚典代子さん                      |
| 10時10分 | [ALS(筋萎縮性側索硬化症)の方の旅に同行して]<br>熊本セントラル病院 訪問看護ステーション<br>看護師長/古良 奈代子さん | 14時15分 | 智恵海園による阿下旗輪舞がいの<br>大久保 恵代さんと、夫の光晴さん   |
| 11時15分 | 熊本県自閉症協会<br>専任職員/福岡 麻子さん(当事者の保護者)                                  | 15時15分 | 日本航空株式会社<br>(しょうがいがある方々、高齢の方のご乗客について) |
| 12時30分 | 昼食 ランチタイムを活用し、新幹線多目的室、<br>バリアフリー施設など、使いやすい社会資源を<br>図像で紹介いたします。     | 16時00分 | 終 了                                   |



主催  ユニバーサルデザイン—すべての人に向けるようこび—  
旅のよろこび株式会社

# 高齢者に安心な旅を

## 筋力や体調確認 九看大生付き添いも

玉名市

高齢者を対象にした「玉名型ウェルネスツーリズム」のモニターツアーが11日、玉名市であり、熊本市などから参加した19人が、体調をケアしながら観光地

「玉名市」日本初の五輪選手で晩年を玉名市で過ごした企業四三が実施した生きがい、健康づくりを街づくりにも生かす市のプロジェクト。福祉



企業四三が晩年を過ごした住家で、ガイド役の中学生ら（手前）から説明を受ける玉名型ウェルネスツーリズムの参加者＝玉名市

や医療を学ぶ熊本市の九州看護福祉大生らの協力で、高齢者の受け入れ、もてなしに必要な課題を洗い出そうと企画した。2023年度の商品化を目指している。

一行は、付き添い役の熊大生と四三の住家と資料館を訪ね、ガイド役の玉名中の生徒らから地域で長年愛されてきた四三の暮らしなどの説明を受け、暮らしてもした。昼食後、貴船屋や筋力などを測定して体調を確認、玉名温泉の足湯も楽し

た。同修などの利用を想定し、コミュニケーション力や組織力の向上を図る体験プログラムを盛り込んだ。7社から19人が参加。7日は、朝から熱気球体験と



村島岳の登山道を修復するため、石を運ぶ参加者たち＝阿蘇市

熊本市から友人と参加した中原洋子さん(74)は「一緒に来てくれる学生さんとの

の会話も楽しんだ。安心して旅行を楽しめるところがいいですね」と話した。(熊本敦)

## 阿蘇地域 ワークーションよかよ

### 県外企業社員招き 県がツアー

県は11日、観光で余暇を楽しみながら仕事をする「ワーケーション」の推進へ、関東・関西の企業に勤める社員を招き、阿蘇地域でモニターツアーを開催

テレワークをした後、村島岳の登山道の修復作業に臨んだ。415人のグループで、地元の登山ガイドらの指導を受けながら石を運んだり、石の配置を話し合ったりしながら取り組んだ。東京のイベント会社勤務の久保理奈さん(32)は「企業と違い、全員に発言や活動の機会があり、自然と